

第5～8回石垣ワーキンググループ（報告）

○第5回 平成30年10月18日（木）9:30～12:00

出席者：北野委員・田中委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・施工者ほか

○第6回 平成30年12月25日（火）9:30～17:00

出席者：北野委員・田中委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・施工者ほか

○第7回 平成31年1月29日（火）9:30～17:00

出席者：北野委員・田中委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・施工者ほか

○第8回 平成31年3月5日（火）9:30～17:00

出席者：北野委員・田中委員
文化庁・熊本県・熊本市・施工者ほか

1. 天守石垣復旧について

○小天守石垣復旧・・・了承【資料3-2】

小天守石垣復旧設計資料は完成。現在、積み直し工事を実施中

2. 飯田丸五階櫓石垣復旧について

○五階櫓台曲輪側石垣解体について・・・了承【資料3-3】

〔ワーキング〕曲輪側石垣は、平成修理・復元のものであり、櫓台外側の解体範囲に合わせ、工法上必要な勾配（安全勾配）を根拠とした解体は了承。江戸期石垣の解体は慎重に行うこと。

○復旧勾配復元（案）について・・・了承【資料3-4】

〔事務局〕了承された復旧勾配（案）で具体的な復旧勾配及び五階櫓台石垣の最終解体範囲を提示する。

○五階櫓台石垣（H266～269）の解体範囲について・・・継続審議

〔事務局〕被災前後の断面比較による孕み出し毀損部＝解体範囲とし、その下部の築石石材毀損状況も考慮した解体範囲案を提示。

〔ワーキング〕H267 南西隅角部とH268 南西隅角部は、解体範囲について再検討が必要。

○要人櫓台石垣（H255）復旧方針について・・・継続審議

〔事務局〕要人櫓解体範囲案と背面掘削による影響範囲を示し、復旧作業の安全性が確保できないため、要人櫓台石垣復旧工法を解体修理以外の工法を検討する。

○五階櫓台・要人櫓台石垣基底部等の発掘調査について・・・了承【資料3-5】

〔事務局〕発掘調査成果は、既往のボーリング調査成果・地表面観察による飯田丸石垣時期別分布状況把握成果とあわせて総体的に飯田丸五階櫓台石垣立地環境・構造の把握資料とする。

3. 重要文化財建造物下石垣の復旧について・・・継続審議 【資料3-6】

○重要文化財建造物下石垣の被害状況・復旧状況を整理し、平成31年度の修復検討対象を提示。